

**ご参考** 「ゼロカーボンベースボールパーク」について

2025年3月に、尼崎市の小田南公園に、日鉄鋼板 SGL スタジアム 尼崎、室内練習場、選手寮兼クラブハウス、タイガース練習場を新設し、現在の西宮市鳴尾浜にある阪神タイガースのファーム施設を移転します。

また、阪神タイガースの選手が試合や練習に励む雰囲気を感じながら野球を楽しめる小田南公園野球場や地域の憩いの場としての芝生広場、散歩やランニングができる周遊コースも設置するなど、ここにしかない魅力ある公園が誕生します。

さらに、太陽光発電・蓄電池の導入や廃棄物発電の活用、省エネの徹底による「脱炭素化」をはじめ、ペットボトル・プラスチックカップの回収・リサイクルや雨水・井水の活用といった環境に優しい取組を行う「ゼロカーボンベースボールパーク」として整備・運営することで、脱炭素社会や循環型社会の実現に資する新たなベースボールパークを創っていきます。

ゼロカーボンベースボールパークに係る環境への主な取組については以下のとおりです。

太陽光発電・蓄電池の導入	省エネの徹底 (ZEB Ready 化・ZEB Oriented 化)	クリーンセンターの廃棄物発電の活用
		
バイオマス製品の活用	ペットボトル・プラスチックカップの回収・リサイクル	雨水・井水の活用
		
現公園内にある樹木 (イチョウやウメなど) の移植	公共交通機関を利用した来場の呼びかけ実施	太陽光発電量や二酸化炭素削減量の見える化
		

※ゼロカーボンベースボールパークの詳細：<https://baseballpark.hanshin.co.jp/>

以上